

工夫を凝らす 企業に聞く

建設業界が長年抱える技術者や職人の人材不足。せっかく縁があって入社しても現場での仕事になじめず、定着できないまま業界を去る若手も多い。国土交通省をはじめとした発注機関は、週休2日制工事の導入など改善を図っているが、現場では「仕事は先輩の背中を見て覚えろ」といった昔ながらの考え方も根強い。若者が魅力を感じ、生涯の仕事として建設業界が選ばれるため、企業はどのような取り組みをするべきか。社員の教育や制度面で工夫を凝らす3社に話を聞いた。

社員が「夢」を見られる企業へ

2013年に父である先代が病に倒れたのをきっかけに、勤めていた金融機関を退職して家業の経営に加わった。創業当初から下水道の維持管理業務を請け負ってきた同社において、完全週休2日制を導入し、人材の育成と定着に力を入れてきた。当時、維持管理業務は昼夜を問わず緊急の対応が求められるため、残業や休日出勤は当たり前だった。時任氏は20代半ばだったが、「この状況では自分よりも若い人は続けられない」と感

トキト

(堺市中区)



代表取締役
時 隼成 氏

じ、17年に隔週の土曜日休みを始めた。売り上げや利益率の減少が見られなかったため、平日にできる仕事を土曜日に持ち越さないよう徹底し、翌年には週休2日制の導入に踏み切った。下水道維持管理の世界は職人肌の人も多い。創業当初から在籍するベテラン社員に対して「これまで培ってきた知識や経験を、若い人たちに俺の背中を見て学べではなく、言葉にして教えてあげてほしい」と伝えた。求めたのは、現場で使用する車両の使い方など、当たり前前の業務を確実にできる人材を育て



昨年、ソフトボールチームを発足させた。チーム名はST(サムライ・トキト)。チームワークの強さが売りだ

「社員に夢を見させてあげたい」と力を込める。地域

ること。社内で各業務に対する技量の基準を設け、そこから適性に合わせ、現場・管理・事務といった業務を選択できるように

密着の現場に限らず、別の地域の現場など幅広い仕事の選択肢を提供し、意欲のある人材が集まる企業を目指していく。

成長する若手を支える体制をつくる

約10年前、「毎年10人の技術者を採用する」という方針を打ち出した。積極的な採用活動が功を奏し、当時85人前後だった社員数は115人となった。現在、30歳以下の若手社員は38人在籍。若手社員が活躍する姿を発信するインスタグラムも開設

大勝建設

(大阪市生野区)



取締役執行役員総務部長
神 和明 氏

これまで、近畿圏に限らず関東、九州および沖縄県の高校や専門学校にも足を運び、多くの人材を採用してきた。各校では近年の人手不足を受けて他社の求人も増えているが、「若手社員が多く、明るく活気のある社

風をアピールしていきたい」と話す。昨年10月には全社員の給与ベースアップを実施した。昨年、神里氏にとつてうれしい出来事があった。新卒採用を積極的に行うようになってから入社した30代前半の建築部の社員と20代後半の土木部の社員が、若手の現場代理人・監理技術者として現場の指揮を執り始めた。同じ現場には、20代前半の若手社員も数人配置されており、年齢の離れていない上司の下で質問や相談をしやすい環境が整っている。

一方、現場のトップに30代前半以下の社員が就く状況に対して、新たな課題にも直面している。社内の年齢構成は30代後半、40代が突出して少ないため、30代前半の社員にとつての「少し上」の世代は空洞化している。初めて所長を経験する者が抱く「2番手、3番手の立場との違いを経験することによっ



若手社員の横のつながりを深めるため、定期的に「若手会」も実施している

まに進ずる。会に貢献する」をかなえるため

て生まれる悩み」を打ち明けられる、身近な先輩を配置できない現場も増えてくる。

建設コンサルタント

セリオス
Serious
CORPORATION

セリオスは、地球環境を大切にします。
日本の国土を守るシビルエンジニアを育てます。

本社：〒541-0048
大阪市中央区瓦町2-4-10
TEL.06-6222-1451 FAX.06-6222-1452
info@serious.co.jp
http://www.serious.co.jp

東日本支社：〒191-0042
東京都日野市程久保8丁目1番2号
TEL.042-599-7822 FAX.042-599-7823

その他事務所：東京・神戸・広島・名古屋・仙台等
グループ会社：株式会社 デザテック

安全で安心できる国造りを目指して。
経験豊かな技術者集団

- 建設事業計画設計
- 地上・境界・3次元・UAV測量
- 下水道・道路・河川・トンネル設計
- 軽量止水パネル販売
- 都市計画再開発・立案
- オゾン発生器販売
- 地質調査・環境アセスメント

いいものを より早く 安く 安全に

創業以来91年の歴史に
培われた熟練の技能で
全てのお客様に役立つ
高度技術集団

日之出塗装工業株式会社
HINODE PAINTING CO.,LTD.

〒596-0049 岸和田市八阪町1-5-43
TEL.072-422-2520(代) FAX.072-439-3870

若手社員の定着へ

働きがい高めるSDGs宣言

2024年に創業90周年を迎えた日之出塗装工業。次の節目である100周年とその先に向けて、若手職人の確保、先輩技術者からの技術継承、今の時代に合った働きやすい環境づくり、業界におけるDX化を重視

日之出塗装工業

(岸和田市)



統括部長 伊賀正浩氏

した塗装の専門工事会社を目指している。その第一歩として、24年3月にSDGsの普及やサポートを行う民間団体である日本SDGs協会の「SDGs事業認定証」を取得した。同協会は企業や団

体の持続可能な社会の実現に向けた取り組みや成果、積極的な貢献を審査し、事業認定証を発行している。伊賀氏は1級建築士や省エネ適合性判定員として日之出塗装工業の業務に関わる傍ら、同協会の技術顧問でもあり、先頭に立って認定証取得に尽力した。



廃棄物の発生を減らす他、建築物への環境負荷低減に向け断熱・遮熱の塗装技術を追求する方針を示した。また、ICTの導入により社員の生産性向上を図る。「塗料は適切に扱わなければ

環境を汚染する。一方で、遮熱など省エネルギー化に寄与する技術でもある。社員には、塗装の仕事に関わることが社会に役立つと強く感じてほしい」と話す。

SDGs宣言から約1年、得意先との関係強化や求人との問い合わせにもつながり始めてきた。今後も、「いいものをより早く、安く安全に」という企業理念を実践し続けるため、SDGs宣言に記した取り組みを履行し、持続可能な都市づくりに貢献していく。

大阪工業技術専門学校

企画開発局長 吉田裕彦氏



企業が若手社員の採用や定着に試行錯誤を重ねる中、教育機関でも建設業界で長く働ける人材育成が必要だ。大阪工業技術専門学校(OCCT)では、約40年前から専門知識に加えて、現場での課題解決やコミュニケーション能力など「働くための力」に着目した教育を行ってきた。

20年以上、OCCTで学生の指導に当たる吉田氏は企画開発局長として学校全体の教育理念の策定にも関わっている。近年の卒業生の傾向について「早くから仕事で活躍したいと考える学生が多い」と分析する。仕事全体の流れ、仕事を続けていった先のキャリア形成を正確に伝えることが、定着につながる要素の一つだと感じている。

「働くための力」着目した教育を

さな仕事でも任せてもらえる人材の輩出が求められる。そのために、授業では顧客の課題解決に向けて、自ら学んで本質をつかみ、考えを「言語化」する方法を伝えてきた。プレゼンテーションを実施する講義では相手に理解してもらうための、どのような工夫を凝らすのかを徹底的に考えさせる。社会に出ると、トラブルや気の合わない顧客とも向き合う必要がある。建築設計学科では、建築を知らない人にさまざまな役割のクライアントを演じてもらい、一戸建てやマンションなどを設計する授業も開いている。

キャリア形成 正確に伝えることが定着に

約40年間、OCCTの授業では顧客と向き合う大切さを伝えてきた。特にプレゼンテーション講義では、相手に理解してもらうため徹底的に考えさせる



の研修にも関わっている。今後もさまざまな場所で、建設業界で働き続ける人材を育てる。

マンション大規模修繕コンサルタント
新築・増改築・リフォーム・耐震診断・耐震補強

設計・監理

株式会社 中尾建築事務所
(一級建築士事務所)

本社 〒598-0005 大阪府泉佐野市市場東2丁目9-1
TEL:072-462-6401 FAX:072-462-6311

大阪事務所 〒530-0038 大阪市北区紅梅町2番17号(第8田淵ビル201)
TEL:06-6809-2066 FAX:06-6809-2088

URL : <http://www.nakao-ao.com>

マンション大規模改修コンサルティング

MTK 株式会社 MTK
一級建築士事務所

- 大規模改修/設備改修工事の設計監理
- 長期修繕計画の作成
- 建物/設備調査・診断
- 耐震診断
- 特殊建築物定期調査報告

私たちは管理組合様への信頼と安心を第一に心がけマンションの快適な住環境と安全に貢献し続けます。

HP <http://www.m-tk.co.jp>

大阪本店 大阪府大阪市北区堂島二丁目1番地16号 TEL.06-6348-5565/FAX.06-6348-5585
フジタ東洋紡ビル5階

東京本店 東京都中央区京橋三丁目14番6号 TEL.03-3538-3010/FAX.03-3538-3011
斎藤ビルディング7階